

平成28年度能勢町一般会計決算を認定

環境教育常任委員会報告

委員長 長尾 義信

9月15日、19日、本委員会に付託されました「平成28年度能勢町一般会計歳入歳出決算認定について」のうち、環境創造部・教育委員会の決算内容を審議した結果、賛成多数で認定すべきものと決定しました。主な質疑応答は次のとおりです。

問 平成28年度決算をもとに次年度の予算編成をどう反映させるか。

答 公平な税の再配分として、集中と選択のもと事業化し、産業を呼び込み、地域資源を活かし、取り組みたい。

問 浄るりシアターの自主事業等の実績と費用対効果は。

答 8事業の入場者は、3123人。そのうち5事業の入場者は100%以上である。また、てっぺんフェスティバルは約5000人の来場者を集め、高い効果を上げた。

問 5年にわたり能勢栗振興事業を実施しているが、栗の木が増えていないように感じるが、対策を考えているのか。

答 苗の補助本数は1850本。能勢栗振興会で栽培講習会や地元有志による土地提供、苗木の育成にも取り組んでいる。

問 農産物の品質管理や畜産の防疫体制等、どのような対策をしているのか。

答 栽培履歴の表示や防疫体制は、大阪府とも協議連携し、農家とも勉強会を開催している。適切に対応してまいりたい。

問 「能勢の郷」購入後の利活用を検討しているのか。

答 郷土館跡地付近を中心とする公園化や敷地の一部において、例えば観光協会における観光事業、その管理についても指定管理制度導入などが現在の検討状況である。

問 事務局費計上の講師謝礼等の内訳、延べ人数は。

答 学校教育全体で英語、教育魅力化、自立活動支援、先生の講師謝礼。延べ人数は150名程度。

問 スクールバスの運行状況は。また、夏休み等の長期休業中の運行形態はどうしているか。

答 マイクロバス6台、中型バス4台、福祉車両1台、順調に運行をしている。

夏休み期間中、平和登校日まではプール使用、クラブ活動等運行している。平和登校日以降は、クラブ活動用として5台のみ運行している。

問 漢字検定事業の状況及び教育コーディネータ活用による成果は出ているのか。

答 漢字検定の合格率が89.4%。統合前から継続して取り組んでいる。教育コーディネータは、地域教育等を子どもたちに幅広くアドバイスをしている。

問 職場体験学習の事業所の受け入れ状況や課題は。

答 事業所21か所に協力をいただいている。平成29年度から事業所に職場体験実施中などの表示を取り入れる。すべての生徒が自分で行先を決めるなど主体的に行動できるよう指導していきたい。

続いて、農業集落排水事業特別会計、下水道事業特別会計、水道事業会計について審議した結果、賛成多数で認定すべきものと決定しました。